

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年 2月 9日

配布数 6

回収数 6

養所名 アートチャイルドケアSEDスクール吹田けんとPlus

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	割合（%）				工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
						はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答		
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1	0	0	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%		
	2 職員の配置数は適切であるか	5	1	0	0	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	1	0	0	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	1	0	0	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%		日々の施設内清掃を継続・徹底し子ども達の人数や年齢に合わせた活動や空間の使い方を検討していきます。
業務 改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1	0	0	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%		どのような目標をいつまでに達成したいのか、方向性をはっきりと職員間で共有し運営していきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		今回が初のアンケートであり実態把握と仮説検証を行う中で業務改善に努めています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1	0	0	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	・今年度から開始する	今回が初のアンケートであり、改善策を職員間で検討し記述した内容をホームページ掲示などで行っていきます。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		社内研修だけでなく、スクール内研修を定期的の実施します。
適切 な 支 援 の 提 供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	0	0	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	・臨床観察、臨床推論、ICF、行動分析等必要に応じてその他のツールを検討	適応行動の状況を把握できるよう個々にアセスメントする力を自己研鑽に努めていきます。
	11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	0	0	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	・個別プログラムはチームで立案行っているが、行わない場合もある	新しいアイデアの創出ができるよう情報共有の活性化を行ってまいります。
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	17 支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
19 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	22	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	23	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	1	0	0	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%		
	24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	25	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	2	0	0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	・まだ機会がないが、開催されるときはぜひ参加したい	地域の情報収集を行い参加が可能な際は積極的に参加し、連携を図ってまいります。
保護者への説明責任等	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・スクール長が丁寧に行なっている	限られた時間の中に多くの情報を詰め込んだり、専門用語を多用せず理解しやすいよう適宜不明点がないか確認を行い、提出物に関しては期限をお伝えしていきます。
	28	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	29	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	30	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	32	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	33	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	1	5	0	0	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%	・計画立案済みのため、今後実施予定。	冷静な判断力と的確な対応力が求められるため避難訓練を通しどのような指示を出せば子どもたちが落ち着いて避難できるかをしっかりと確認しておくようにします。また、避難時の問題点や課題を共有し安全に避難できるよう改善していきます。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1	5	0	0	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%		
	36	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・看護職員より丁寧な説明を受けることが出来ている。	継続して専門職員によるスクール内研修を行い、全体のスキルアップを行います。
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・月のミーティングで共有して全体周知を努めている。	共有することで重大な事故の発生を防ぎ、アクシデントや最悪の場合が起こらないよう対策を日々検討していきます。
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1	5	0	0	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%	・月のミーティングで共有し、全体周知を努めているが、研修は行なっていない。	定義や虐待の種類を理解し虐待の兆候やリスク・要因を早期に気づくことができる力を身に付けていきます。